



## 富山県立大学三十年史 知事あいさつ

富山県知事 石井 隆一

富山県立大学は、平成2年4月に日本海側で初めての工学系公立大学として開学し、本年で30年の節目を迎えられました。

この間、絶えず教育研究環境の充実・高度化に努めるとともに、県立大学研究協力会のご支援のもと、企業との共同研究など産学官連携に積極的に取り組み、「地域の知の拠点」として着実に発展してきました。

平成27年4月には公立大学法人へ移行し、これを契機に、「地方創生の一翼を担い、地域に貢献する大学」としてさらなる飛躍・発展を目指すため、医薬品工学科、知能ロボット工学科、電気電子工学科、情報システム工学科の設置などの学科の新設・拡充や入学定員の増員、看護学部の開設、最新の実験設備を導入した中央棟の供用開始など、教育研究環境の一層の充実が図られてきています。

また、例年、就職率がほぼ100%と全国トップクラスの実績を誇っており、きめ細かな教育やキャリア形成支援により、多くの有為な学生を社会に輩出する「就職に強い大学」として高く評価されています。

これもひとえに、渋谷理事長、下山学長をはじめ歴代の理事長、学長並びに教職員の皆様の不断のご努力とご熱意の賜であり、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、今日、少子高齢化の進行や、グローバル化・第4次産業革命の進展など、我々を取り巻く環境が大きく変化するなか、県では、「元気とやまの創造」に向けて、「人づくり」を重要政策と位置づけ、社会の変化に対応できる人材の育成や、これからの日本、さらにはグローバルな舞台で活躍できる人づくりを進めています。

県としましては、今後とも県立大学と連携しながら、地元産業や地域医療の未来を担う人材育成に全力を尽くし、「令和の世」にふさわしい活力と魅力あふれる県づくりに果敢に挑戦してまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

県立大学におかれましては、未来を志向する建学の精神とこれまでの30年の歴史を礎として、今後とも、地域の大きな期待に応え、明日の富山県や日本をリードする有為な人材を育成し、地方創生の一翼を担っていただくことを大いに期待しています。

終わりに、富山県立大学の限りない発展と、関係の皆様のみますますのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。